

2026年 5月 13日

情報公開文書

「長門市の壮年・高齢期における腸内フローラ組成を指標とした健康づくりに関する実態調査」にご協力を頂いた皆さまへ

表題の研究計画「長門市の壮年・高齢期における腸内フローラ組成を指標とした健康づくりに関する実態調査」につきまして研究代表者の所属職位変更および共同研究機関の変更について周知させていただきます。その概要を記載いたしますので、ご質問・ご相談等がございます場合、下記のお問い合わせ先までお問い合わせください。

1. 研究課題名

長門市の壮年・高齢期における腸内フローラ組成を指標とした健康づくりに関する実態調査

2. 研究代表者（所属職位のみ変更あり）

國澤 純：医薬基盤・健康・栄養研究所/ヘルス・メディカル微生物研究センター/センター長

3. 本研究課題の目的（変更なし）

山口県長門市では「ながと健幸百寿プロジェクト」が設置され、重点課題として「健幸づくり」に取り組むことが表明されています。このプロジェクトの一環として、腸内フローラ調査、血液検査、および食・生活習慣調査を行い、年齢や食・生活習慣による腸内フローラ組成（お腹に住む菌）の実態や特徴、血液検査結果と腸内フローラ組成との関連を把握することを目的としています。さらに、65歳以上の方については、上記調査に加えて、認知機能評価を実施させて頂き、認知機能と腸内フローラ組成および食・生活習慣の関連について併せて検討します。これにより、生活習慣病予防対策と食行動の検討や腸内フローラ組成の特徴など、長門市に必要なとされる健康支援に関わる課題を抽出できると期待しています。

我々の腸管に数百種類の細菌が生息しており、腸内細菌叢（腸内フローラ）と呼ばれています。この腸内にいる細菌には様々な働きがあることが明らかになってきており、病気を増悪する、もしくは予防するなど我々の健康状態と深く関わっていることが明らかになってきています。認知機能と腸内フローラの関係は最近注目を集めていますが、まだ科学的な情報は十分ではなく、特に人を対象とした調査研究は学術的にも非常に有意義なものとなります。

4. 研究対象者(試料の収集期間)（変更なし）

2021年1月から現在までの期間に「長門市の壮年・高齢期における腸内フローラ組成を指標とした健康づくりに関する実態調査」(研究期間：2020年11月～2025年3月)にご同意いただいた方から収集した試料と情報を研究対象とします。

5. 研究期間の変更（変更なし）

研究期間 2020年11月25日より2030年3月31日まで

6. 共同研究機関（変更あり）

- ・ 山口県立大学(共同研究実施期間(許可承認日～2025年3月31日まで)
(2026年許可承認日～) (追加部分)
- ・ 長瀬産業株式会社(共同研究実施期間(実施許可日～2025年3月31日まで) (変更なし)

7. 共同研究機関への試料・情報提供の目的と実施内容について（変更なし）

共同研究機関と協力して、腸内細菌や生活習慣と健康（認知機能など）を繋ぐ科学的なメカニズムを解明したいと考え実施しておりました。この共同研究は、「ながと健幸百寿プロジェクト」における「健幸づくり」を推進するものであり、将来的に、生活習慣病予防対策などへ貢献できるものであると期待できます。そのため、皆様からご提供頂いた試料（血液など）を長瀬産業株式会社へ提供し、抗酸化物質などの代謝物を分析、さらに、この分析結果やその他の情報（健康診断結果やアンケート情報、腸内細菌の分析データなど）を医薬基盤・健康・栄養研究所、山口県立大学、長瀬産業株式会社で共有し、その関連性などについて解析致しました。ただし、個人を特定できる情報は長瀬産業株式会社へは一切提供しておりません。また、本研究を長瀬産業株式会社で実施するにあたり、医薬基盤・健康・栄養研究所研究倫理審査委員会で研究倫理審査を受けて機関長の許可を得て実施しておりました。

8. お問い合わせ先

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8

医薬基盤・健康・栄養研究所 ヘルス・メディカル微生物研究センター

センター長 國澤 純

電話 072-641-9871